

令和5年度

浅科人权文化センター運営委員会

資料

## 隣保館の歴史

昭和28年度の国家予算に、初めて同和地区に隣保館を建設する経費の補助金が計上され、その後、同和対策事業特別措置法制定を契機として全国に隣保館の整備が図られた。平成9年特別措置法が失効したことにより、同和対策施設から社会福祉施設へと変わり現在に至る。

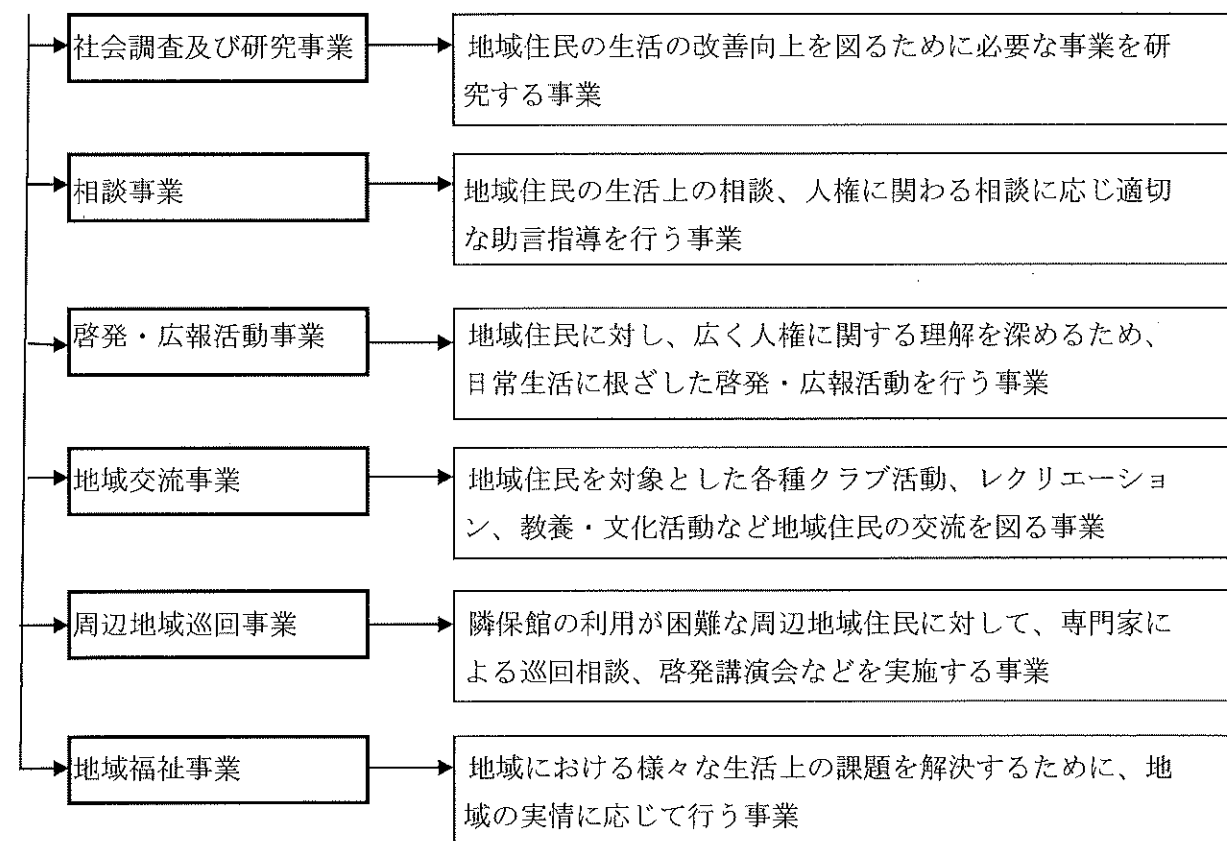
## 隣保館の目的

隣保館は、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うものとする。

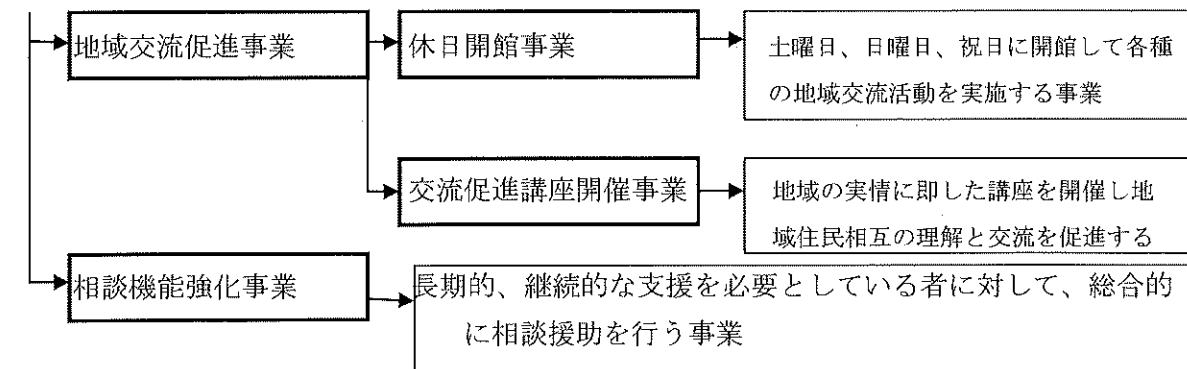
## 隣保館事業の体系

H14.8.29 厚生労働事務次官通知隣保館設置運営要綱より

### 基本事業



### 特別事業



(1) 令和4年度 浅科人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	回数	人数 件数	事業の方向性・検討課題
<b>基本事業</b>					
社会調査及び研究事業	① 人権同和教育・人権啓発に係る講演会や研修に出席 全国隣保館職員東日本ブロック研修会 長野県隣保館連絡協議会先進地研修会	10/27 ～ 10/28	1	1	新型コロナウイルス感染症により、他市町村職員との交流が難しくなっている。
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時			
相談事業	① 個別訪問による相談活動 相談員により地区の独居老人世帯を重点に訪問し、長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行った。	随時		65件	相談をとおして地域の課題や住民ニーズ等発見し対応するとともに、予防していく。相談ごとの回答やアドバイスを提供するとどまらず「悩み事」をかかえた相談者に対する心のケアの場とする。
	② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行った。				
	③ 教育相談 英語教室等の保護者や生徒への助言を行った。				
	④ 健康相談 長生き会や音楽教室の折に保健師・看護師による健康相談を実施した。				
啓発・広報活動事業	《 人権広報活動 》				今後もいろいろな機会において、情報発信を行っていく。
	① 「浅科人権文化センターだより」の発行 (地区内、浅科人権文化センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員)	6月 11月 1月 3月	年 4 回	各回 54部	
	② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し	通年			
	③ 人権パネルの展示	通年			
	④ 「隣保館だより」の発行(広報佐久3月号別冊) 市内全戸と関係機関へ配布し、隣保館で実施された事業、次年度実施される予定の教室などを周知した。	3月	1		
	⑤ 解放新聞、ハローワーク求人情報、情報誌等の提供	通年			
	《 地区内人権啓発活動 》				
① 小・中学校教諭、運動団体役員との人権懇談会	10/26	1	13名	貴重な意見交換の場であるので、今後も開催していく。	
《 地区内外の人権啓発活動 》					
① 人権啓発講演会 講師： 高野清雄(部落解放同盟佐久市協議会浅科支部長) 柴平浩文(職員)	3/2	1	7人	来年度も高野支部長に講演をお願いする。	
地域交流事業	① 地域交流会(料理教室・音楽教室)	6月 ～ 11月	5	25人	コロナウイルス感染症の拡大により中止となることがあり、回数が減少となった。
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じて状況を把握し、指導を行った。	通年			事業開催のチラシ等の配布時を利用し、高齢者等が気兼ねせずに相談できる関係を構築していく。

事業名	事業内容	実施日	回数	人数 件数	事業の方向性・検討課題	
地域福祉事業	① 長生き会 (健康相談・料理教室)	6/29 10/19	2	10人	浅科支部の女性会員に協力をお願いして、開催をしている。	
	② 長生き会研修 (浅間縄文ミュージアム：御代田町)	11/2	1	3人	今後も新型コロナウイルス感染症の拡大等の様子を見ながら開催していく。	
<b>特別事業</b>						
地域交流促進事業	《 休日開館事業 》					来年度も休日中学英語教室を実施する。回数については、コロナウイルス感染症の状況を見極めて判断したい。
	① 休日相談		4月 ～ 3月	11	0件	
	② 絵手紙教室		毎月第1 土曜日	12	63人	
	③ 成人書道教室		7月 ～ 3月	6	46人	
	④ 休日中学英語教室		9月 ～ 3月	7	23人	
	《 交流促進講座開催事業 》					地域の実態に即して、教室開催を決めていく。
	① 児童書道教室 (小学生対象)		毎週 水曜日	37	230人	
	② 成人書道教室 (中学生以上対象)		毎週 月曜日	36	225人	
	③ 絵手紙教室		毎月 第3 月曜日	11	78人	
	④ 手芸教室		毎月 第1 木曜日	11	59人	
	⑤ 児童英語教室 (6年) (浅科小学校6年生対象)		毎週 火曜日	35	205人	
	⑥ 中学英語教室 (1年) (浅科中学校1年生対象)		毎週 木曜日	39	125人	
	⑦ 中学英語教室 (2年) (浅科中学校2年生対象)		毎週 火曜日	39	212人	
	⑧ 中学英語教室 (3年) (浅科中学校3年生対象)		毎週 金曜日	38	161人	
相談機能強化事業	① 支援方策検討会 長期的・継続的な相談援助を必要とする事項について自立支援の方策を検討するため支援方策検討会を実施した。	2/14	1	4人	地域の課題・生活支援について、各関係機関と情報交換や連携を通じ対応していく。	
<b>その他事業</b>						
その他	① 人権・男女共生フェスティバル 作品展示 (絵手紙、手芸、書道)	11/20	1	1件	人権・男女共生フェスティバルに多くの作品を展示してもらえるように事前に呼びかける。	
	② ホームページの活用 佐久市のホームページ内に、隣保館の講座案内、相談窓口の掲載をし、人権啓発や情報の提供を実施した。	通年				

## 隣保館活動状況

### 【浅科人権文化センター】

#### 1 相談事業実施状況

相談事項	令和4年度相談件数	令和3年度相談件数
生活相談（生活・人権等相談）	5	22
健康相談（健康診断）	25	23
職業相談（就職・失業保険）	0	2
事業相談	0	0
教育相談	35	30
計	65	77

#### 2 事業実施状況

事業名	令和4年度		令和3年度	
	開催回数	参加人員	開催回数	参加人員
啓発・広報活動事業	1	7	1	7
地域交流事業	5	25	9	53
地域福祉事業	3	13	3	15
休日開館事業	36	132	25	85
交流促進講座開催事業 （休日開館は除く）	246	1,295	213	1,451
計	291	1,472	251	1,611
人権センター通信等の発行	4	地区全戸配布他 (54部/回)	4	地区全戸配布他 (57部/回)

(2) 令和5年度 浅科人権文化センター事業計画 (案)

事業名	事業内容	実施日	回数
<b>基本事業</b>			
社会調査及び研究事業	① 研修会、講演会等への出席 全国隣保館職員東日本ブロック研修会 長野県隣保館関係職員研修会 他	随時	
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時	
相談事業	① 個別訪問による相談活動 相談員により地区の独居老人世帯を重点に訪問し、長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行っていく。	随時	
	② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行っていく。	随時	
	③ 教育相談 英語教室の保護者や生徒に助言を行っていく。	随時	
	④ 健康相談 長生き会や音楽教室の折に保健師・看護師による健康相談を実施する。	事業実施時	
啓発・広報活動事業	《 人権広報活動 》		
	① 「浅科人権文化センターだより」の発行 (地区内、浅科人権文化センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員、各教室参加者へ配布)	7月 10月 1月 3月	4
	② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し	随時	
	③ 人権パネルの展示	通年	
	④ 「隣保館だより」の発行 (広報3月号別冊)	3月	1
	⑤ 解放新聞、ハローワーク求人情報、情報誌等の提供	通年	
	《 地区内人権啓発活動 》		
	① 小中学校教諭と運動団体役員との人権懇談会		1
	《 地区内外の人権啓発活動 》		
	① 人権啓発講演会 講師：高野清雄 (部落解放同盟佐久市協議会浅科支部長)		1
地域交流事業	① 地域交流会 (料理教室・音楽教室)	4月 ～ 11月	12
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じて状況を把握し、指導を行う。	通年	

(2) 令和5年度 浅科人権文化センター事業計画 (案)

事業名	事業内容	実施日	回数
基本事業			
社会調査及び研究事業	① 研修会、講演会等への出席 全国隣保館職員東日本ブロック研修会 長野県隣保館関係職員研修会 他	随時	
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時	
相談事業	① 個別訪問による相談活動 相談員により地区の地区の独居老人世帯を重点に訪問し、長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行っていく。	随時	
	② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行っていく。	随時	
	③ 教育相談 英語教室の保護者や生徒に助言を行っていく。	随時	
	④ 健康相談 長生き会や音楽教室の折に保健師・看護師による健康相談を実施する。	事業実施時	
啓発・広報活動事業	《 人権広報活動 》		
	① 「浅科人権文化センターだより」の発行 (地区内、浅科人権文化センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員、各教室参加者へ配布)	7月 10月 1月 3月	4
	② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し	随時	
	③ 人権パネルの展示	通年	
	④ 「隣保館だより」の発行 (広報3月号別冊)	3月	
	⑤ 解放新聞、ハローワーク求人情報、情報誌等の提供	通年	
	《 地区内人権啓発活動 》		
	① 小中学校教諭と運動団体役員との人権懇談会		1
《 地区内外の人権啓発活動 》			
① 人権啓発講演会 講師：高野清雄 (部落解放同盟佐久市協議会浅科支部長)		1	
地域交流事業	① 地域交流会 (料理教室・音楽教室)	4月 ～ 11月	12
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じて状況を把握し、指導を行う。	通年	

事業名	事業内容	実施日	回数
地域福祉事業	① 長生き会 (健康相談・料理教室)	6/28 10/18 12/13	3
	② 長生き会研修		1
<b>特別事業</b>			
地域交流促進事業	《 休日開館事業 》		
	① 休日相談	毎月 第3土曜日	12
	② 絵手紙教室	毎月 第1土曜日	12
	③ 成人書道教室 (中学生以上対象)	7/17・9/18 10/9・1/8	4
	④ 休日中学英語教室	必要に 応じて	
	《 交流促進講座開催事業 》		
	① 児童書道教室 (小学生対象)	毎週水曜日	38
	② 成人書道教室 (中学生以上対象)	毎週月曜日	36
	③ 絵手紙教室	毎月 第3月曜日	12
	④ 手芸教室	毎月 第1木曜日	12
	⑤ 中学英語教室 (1年) (浅科中学校1年生対象)	毎週火曜日	41
	⑥ 中学英語教室 (2年) (浅科中学校2年生対象)	毎週金曜日	42
	⑦ 中学英語教室 (3年) (浅科中学校3年生対象)	毎週木曜日	45
相談機能強化事業	① 支援方策検討会 長期的・継続的な相談援助を必要とする事項について自立支援の方策を検討するため支援方策検討会を実施する。	必要に 応じて	
<b>その他事業</b>			
その他	① 人権・男女共生フェスティバル 作品展示 (絵手紙、手芸、書道)	1	1
	② ホームページの活用 佐久市のホームページ内に、隣保館の講座案内、相談窓口の掲載をし、人権啓発や情報の提供を実施する。	通年	